

## (2) 財政状態に関する分析

## 【資産、負債、純資産の状況】

(単位：億円)

	2010年度 (2011年3月31日)	2011年度 (2012年3月31日)	増 減
流動資産	17,606	17,017	588
(現金及び預金並びに有価証券)	(3,646)	(2,739)	(907)
(受取手形及び売掛金)	(8,770)	(9,013)	(242)
(たな卸資産)	(3,414)	(3,341)	(73)
固定資産	12,634	12,437	197
(有形固定資産)	(6,386)	(6,409)	(23)
(無形固定資産)	(2,519)	(2,302)	(216)
(投資その他の資産)	(3,728)	(3,724)	(3)
資産合計	30,240	29,455	785
流動負債	15,078	14,174	903
(支払手形及び買掛金)	(6,042)	(6,177)	(134)
(短期借入金及び1年内社債)	(2,255)	(1,289)	(966)
(未払費用)	(3,231)	(3,425)	(193)
固定負債	5,625	5,614	10
(社債及び長期借入金)	(2,452)	(2,522)	(69)
(退職給付引当金)	(1,815)	(1,804)	(10)
(繰延税金負債)	(337)	(279)	(58)
負債合計	20,703	19,789	914
株主資本	9,039	9,260	221
その他の包括利益累計額	826	850	23
少数株主持分	1,324	1,254	69
純資産合計	9,537	9,665	128
負債純資産合計	30,240	29,455	785

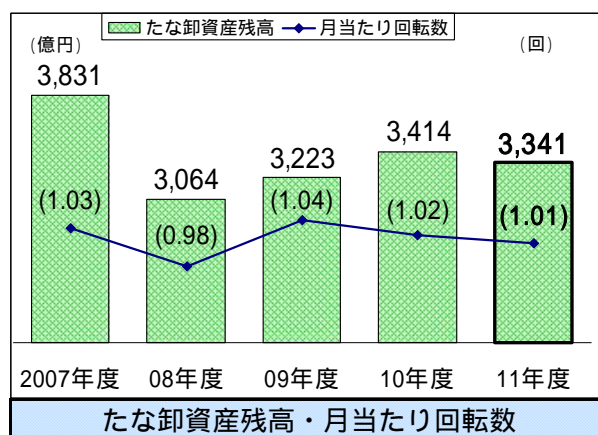
## 【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

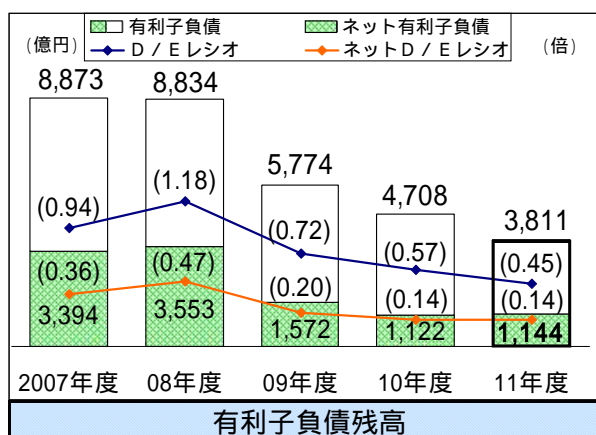
	2010年度 (2010年4月1日～ 2011年3月31日)	2011年度 (2011年4月1日～ 2012年3月31日)	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,555	2,400	155
(税金等調整前当期純利益)	(1,022)	(667)	(355)
(減価償却費及びのれん償却額)	(2,233)	(2,095)	(138)
(売上債権の増減額(は増加))	(256)	(339)	(596)
(たな卸資産の増減額(は増加))	(227)	(46)	(273)
(仕入債務の増減額(は減少))	(17)	(208)	(225)
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,421	1,908	487
(有形固定資産の取得による支出)	(1,222)	(1,377)	(155)
(無形固定資産の取得による支出)	(596)	(575)	(21)
(投資有価証券の売却による収入)	(351)	(56)	(295)
+ フリー・キャッシュ・フロー	1,134	491	642
特殊要因を除く	733	435	298
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,669	1,389	279
(借入金の純増減額(は減少))	(31)	(406)	(374)
(社債の発行及び償還)	(998)	(482)	(516)
(配当金の支払額)	(231)	(226)	(5)
現金及び現金同等物の期末残高	3,585	2,666	918

(注) 特殊要因を除くフリー・キャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入及び事業譲渡による収入を除いたものであります。

資産、負債、純資産の状況



(注) 月当たり回転数は、連結会計年度の売上高÷期中平均たな卸資産残高÷12により算出しております。なお、期中平均たな卸資産残高は第1四半期末、第2四半期末、第3四半期末及び期末たな卸資産残高の平均残高を使用しています。



当年度末の総資産残高は2兆9,455億円と、前連結会計年度(以下、前年度)末から785億円減少しました。流動資産は1兆7,017億円と前年度末から588億円減少しました。転換社債の満期償還の一部に手許資金を充当したほか、借入金の返済を進めたことにより、現金及び預金並びに有価証券が907億円減少しました。受取手形及び売掛金は第4四半期の売上が前年同期から増加したことなどにより242億円増加しました。たな卸資産は3,341億円と前年度末から73億円減少しました。震災やタイの洪水以降、不測の事態に備えるため部材の在庫を厚くしましたが、次世代スーパーコンピュータシステムの納入が順調に進みました。資産効率を示す月当たり回転数は1.01回とほぼ前年度末並みになりました。固定資産は1兆2,437億円と前年度末から197億円減少しました。のれんの償却などにより無形固定資産が216億円減少しました。

負債残高は1兆9,789億円と前年度末から914億円減少しました。有利子負債残高は3,811億円と前年度末から896億円減少しました。転換社債1,000億円の満期償還に対し3年及び5年満期の普通社債500億円を発行したほか、借入金の返済を進めました。これによりD/Eレシオは0.45倍と前年度末から0.12ポイント改善し、ネットD/Eレシオは0.14倍と前年度末と同水準になりました。D/Eレシオ及びネットD/Eレシオともに、これまでで最も小さい比率となりました。

純資産は9,665億円と前年度末から128億円増加しました。当期純利益の計上により株主資本が221億円増加しました。その他の包括利益累計額は850億円と、為替レートや株価が期中で大きく変動したものの、年度末時点での比較ではほぼ前年度末並みとなりました。自己資本比率は28.6%と、自己資本の増加により前年度末から1.4ポイント増加しました。

(単位:億円)

	2010年度 (2011年3月31日)	2011年度 (2012年3月31日)	増減
現金及び現金同等物の期末残高	3,585	2,666	918
有利子負債の期末残高	4,708	3,811	896
ネット有利子負債の期末残高	1,122	1,144	22
自己資本	8,212	8,410	197

## キャッシュ・フローの状況

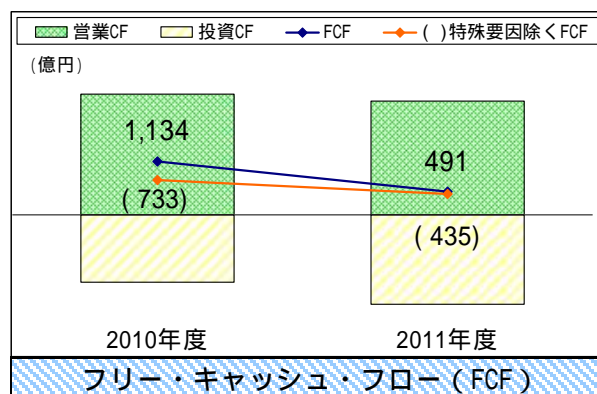
当年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,400億円のプラスとなりました。前年度からは155億円の収入減となりました。タイの洪水影響に加えてLSIや電子部品の所要低迷、大型システム商談の減少などにより税金等調整前当期純利益が悪化したことなどによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,908億円のマイナスとなりました。データセンター関連を中心とした設備投資により有形固定資産の取得で1,377億円支出したほか、ソフトウェアを中心に無形固定資産の取得で575億円支出しました。前年度からは487億円の支出増となりました。前年度には投資有価証券の売却による収入が351億円ありました。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは491億円のプラスと、前年度からは642億円の収入減となりました。投資有価証券の売却による収入など特殊要因を除いたベースでは435億円のプラスと、前年度から298億円の収入減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,389億円のマイナスになりました。転換社債1,000億円の満期償還に対し3年及び5年満期の普通社債500億円を発行したほか、借入金の返済を進めました。前年度からは279億円の収入増となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は2,666億円と、前年度末からは918億円減少しました。



(注) 特殊要因を除くフリー・キャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入及び事業譲渡による収入を除いたものであります。

## （ご参考）財務指標

（単位：億円）

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
売上高	53,308	46,929	46,795	45,284	44,675
（海外売上高）	（19,236）	（14,998）	（17,483）	（15,873）	（15,060）
（海外売上高比率）	（36.1%）	（32.0%）	（37.4%）	（35.1%）	（33.7%）
営業利益率	3.8%	1.5%	2.0%	2.9%	2.4%

自己資本当期純利益率	5.0%	13.2%	12.0%	6.8%	5.1%
------------	------	-------	-------	------	------

たな卸資産	3,831	3,064	3,223	3,414	3,341
（たな卸資産回転率）	（13.40回）	（13.61回）	（14.88回）	（13.65回）	（13.23回）
（たな卸資産の月当たり回転数）	（1.03回転）	（0.98回転）	（1.04回転）	（1.02回転）	（1.01回転）
総資産	38,219	32,219	32,280	30,240	29,455
（使用総資本回転率）	（1.37回）	（1.33回）	（1.45回）	（1.45回）	（1.50回）
株主資本	9,116	7,829	8,658	9,039	9,260
（株主資本比率）	（23.9%）	（24.3%）	（26.8%）	（29.9%）	（31.4%）
自己資本	9,482	7,489	7,986	8,212	8,410
（自己資本比率）	（24.8%）	（23.2%）	（24.7%）	（27.2%）	（28.6%）
時価ベースの 自己資本比率	35.3%	23.4%	39.1%	32.2%	30.6%

有利子負債の期末残高	8,873	8,834	5,774	4,708	3,811
ネット有利子負債の期末残高	3,394	3,553	1,572	1,122	1,144
D/Eレシオ	0.94倍	1.18倍	0.72倍	0.57倍	0.45倍
ネットD/Eレシオ	0.36倍	0.47倍	0.20倍	0.14倍	0.14倍

営業キャッシュ・フロー	3,220	2,480	2,953	2,555	2,400
フリー・キャッシュ・フロー （特殊要因を除く）（1）	381 （173）	234 （78）	2,964 （1,116）	1,134 （733）	491 （435）

キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	2.8年	3.6年	2.0年	1.8年	1.6年
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	15.1倍	14.2倍	18.1倍	21.8倍	25.9倍

（注）自己資本	：純資産残高 - 新株予約権 - 少数株主持分
自己資本当期純利益率	：当期純利益 ÷ { (期首自己資本 + 期末自己資本) ÷ 2 }
たな卸資産回転率	：売上高 ÷ { (期首たな卸資産残高 + 期末たな卸資産残高) ÷ 2 }
たな卸資産の月当たり回転数	：売上高 ÷ 期中平均たな卸資産残高 (2) ÷ 12
使用総資本回転率	：売上高 ÷ { (期首総資産残高 + 期末総資産残高) ÷ 2 }
株主資本比率	：株主資本残高 ÷ 総資産残高
自己資本比率	：自己資本 ÷ 総資産残高
時価ベースの自己資本比率	：株式時価総額 ÷ 総資産残高
ネット有利子負債の期末残高	：有利子負債の期末残高 - 現金及び現金同等物の期末残高
D/Eレシオ	：有利子負債の期末残高 ÷ 自己資本
ネットD/Eレシオ	：(有利子負債の期末残高 - 現金及び現金同等物の期末残高) ÷ 自己資本
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	：有利子負債の期末残高 ÷ 営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	：営業キャッシュ・フロー ÷ 支払利息

（1）特殊要因を除くフリー・キャッシュ・フローは、以下の影響を除いたものであります。

- ・投資有価証券の売却による収入
- ・連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入
- ・事業譲渡による収入

（2）期中平均たな卸資産残高は第1四半期末、第2四半期末、第3四半期末及び期末たな卸資産残高の平均残高を使用しています。